

平成22年度県立高等学校入学者選抜学力検査結果

鳥取県教育委員会事務局高等学校課

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項の問題も多く出題されており、これらの正答率、平均点や得点の度数分布から見ると、基礎的な力は定着しているものと考えられる。

しかし、記述式問題や作文問題については、選択肢の問題と比較して正答率が極端に下がるうえ、無答率も高くなっている。本文の表現内容を考察、吟味し、根拠に基づいて説明したり、条件に従って自分の考えをまとめ、表現したりするなどの「書く力」の育成に課題がある。

【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的事項の定着をみるために、各分野とも基礎的・基本的な知識・理解を問う問題を多く出題したことで、平均点は例年と比べて上昇した。しかし、基礎的・基本的事項であっても、選択肢から選ばせる解答方法でなく語句を記述させる問題は正答率が低かった。

身近で具体的な事例を参考にして、社会生活や経済活動の基本的な考え方をとらえることは出来ていたが、地図を有効に活用して、地理的な見方や考え方を身につけることや歴史の流れを大きくとらえ理解する力は十分に身につけているとはいえず、今後一層これらの力を養っていくことが必要である。

【 数 学 】

数学については、基本問題を多く出題しており、難易度のバランスが取れるよう配慮した出題とした。教科書や問題集等で学習した型どおりの問題は正答率が高かったが、型にはまらない問題や粘り強い計算が必要な問題、立体図形に関する問題は、正答率が低く無答率も高い。これは、型どおりには処理できない問題や、型にはめるまでに試行や多段階の思考を要する問題など、事象を論理的・数理的に考察・処理することに課題があるためと考えられる。補助線を引く、表を作る、いくつかの値を代入する、問題のとおり実際に変化させた図を書くなど具体的な操作を通して、主体的に問題場面を理解しようとする姿勢の育成が必要である。

【 理 科 】

理科については、全般的に、選択肢により解答する問題に比べ、記述により解答する問題では正答率が低かった。問題文や図表等で示された条件を読み取って、説明、計算、作図する問題では、的確に解答できていない答案が目立った。基礎的・基本的事項の定着は見られるが、読解力や思考力・表現力の育成が十分ではなく、基礎的・基本的事項の活用に課題がある。

また、既習事項を関連づけて総合的に考察する力の育成にも課題がある。今後、観察・実験の結果を分析し、考察する習慣をつけるなど、探究的な学習を一層推進するとともに、探究の過程をレポートにまとめたり、発表するなど、表現力の育成にも努める必要がある。

【 英 語 】

英語については、全体をとおして、基本的な知識を直接問う問題の正答率が高いが、その知識を活用して解答する問題の正答率は低く、まとまりのある英文や会話を読んだり聞いたりして、求められている情報を的確に理解して表現することや、場面や状況に応じて英語で表現することに課題がある。得点分布を見ると、上位層が薄く、下位層が厚いという傾向が出ており、コミュニケーションを伴う言語活動を通じて活用できる基本的な事項（語彙、連語、文法事項）の一層の充実を図るとともに、まとまりのある英語に慣れ親しみその内容を正確に理解したり、理解した内容や自分の考えを適切に伝える経験を積む必要がある。

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識を問うとともに、社会生活において必要となる言語事項について、その理解力や表現力をみる。
- 2 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 文学的な文章を読むことを通して、文章に描かれた場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古文を読むことを通して、古文の基本的な事項や記述された内容について、理解する力をみる。
また、内容をふまえて、条件に従い、自分の考えをまとめ作文する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、例年通り小問集合形式による出題で、基礎的な国語の力をみるものとした。スピーチの内容からメモ書きの内容を判断する問題は正答率が高かったが、漢字の字体や画数、俳句の季語などの基礎的な知識を問う問題で正答率が低かった。また、人名の漢字を書き取る問題もやや正答率が低くなった。単なる書き取りではなく、漢字について説明した文章を読んで正しい漢字を判断する力が不足していることが窺える。
- 2 問題二は、説明的文章とし、基礎的な言語事項と筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。本文における漢字の読みや接続語などの問題、本文に即して四分割表への適する語句の補充問題では非常に正答率が高く、基礎的な言語事項や表現を理解する力についてはついてきていると考えられる。一方で、漢字の書き取りや指示語の内容を理解して過不足なくまとめる問題、本文全体の表現上の特色を理解する力を問う問題は正答率がやや低かった。また、文脈をたどりながら、筆者の考えとその表現内容を的確に理解し、正答を選択する問題は正答率が低くなった。本文の内容と選択肢とをじっくりと比較、吟味し、根拠に基づいて正答を導き出す姿勢に課題がある。
- 3 問題三は、小説とし、基礎的な言語事項や文脈をたどりながら場面・表現内容・登場人物の心情等の読み取りや理解の力をみた。文脈から脱文を補充する問題や基礎的な慣用句の問題、文法的知識を問う問題は正答率が高い。逆に、登場人物の心情を考察して条件に従って表現する問題や文章全体の表現の特色とその内容とを的確に理解し正答を選択する問題では正答率が低い。また、小説の基本的事項である伏線を理解したうえで、文法の基礎的事項である一文節で抜き出す問題も非常に正答率が低い。基礎的・基本的な知識・理解を問う問題が複合化された場合に、落ち着いて正答を導く態度が必要である。
- 4 問題四は、古典分野の古文からの出題とし、古文の基本的な知識や表現内容を理解する力をみる問いと本文の内容に関する作文とで構成した。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改める問題や単語の意味を本文から推測する問題は正答率が高く、基礎的な言語事項が定着していることが窺える。一方で文脈や筆者の考えを理解する問題は正答率が低くなった。説明的文章や小説同様にじっくりと文脈をたどって根拠に基づき、正答を導く態度の育成に課題がある。また、作文問題の正答率が低くなっており、与えられた条件に従っていないことや、誤字・脱字等の基礎的な書く力の不足が見られる。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 日本や世界の地理的事象について、地図、統計、写真などの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方や考え方が身に付いているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、写真や年表、統計などをもとに多面的に考察し、歴史の大きな流れなどを総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本や世界の政治、経済、社会の基本的なしくみを表やグラフなどの資料をもとに、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考え、判断する力をみる。
- 4 近現代の日本の歴史を、表やグラフの資料をもとに、経済的な視点から考察し、筋道を立てて適切に表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理分野に関する出題とした。写真や統計、表などの資料を正確に読み取る地理的技能にくわえ、地域的な特色を総合的に判断する力は、身につけてきている。しかし、基礎的・基本的な地形図の読み取りに関する問題の正答率は非常に低く課題であり、地理学習の全般にわたって地図を使った学習を一層充実させることが大切である。
- 2 問題2は、歴史分野に関する出題とした。昨年に続いて、我が国の歴史の大きな流れを理解しているかを問うた年代を並べ替える問題の正答率が低く、引き続き課題である。また、古代から近世の時代を扱った問題と比べて、近現代の日本と世界を扱った問題の正答率が低く、近現代の時代を一層工夫して学習させることが大切である。
- 3 問題3は、公民分野に関する出題とした。政治、経済の基本的な知識を問う問題の正答率は高かったが、現代の国際社会に関する問題は、基礎的・基本的な事項が理解できておらず、無回答率も高かった。また、基礎的・基本的な知識を前提として表から必要な情報を抽出して解答する「条例の制定・改廃の請求のために必要な有権者の署名数をこたえる問題」は正答率が低かった。
- 4 今年度は、大問を1題増やして、問題4は、近現代の歴史と経済を融合し、歴史分野と公民分野を有機的に関連づけて事象を考察する力をみる問題とした。グラフや表を読み、判断する問題は良くできていたが、条件をもとに自分の考えを筋道を立てて解答する問題は、無答率が10パーセントを超え、正答率も低かった。習得した知識を活用して、社会的事象について自分の考えを説明する力を養うことが大切である。
- 5 いずれの分野においても、日常生活から社会的な問題に関心を持ち、基礎的・基本的 事項を理解した上で、多面的・多角的に考えて判断し、自分の言葉で表現する力を育成していくことが重要である。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力をみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を活かして、見通しをもって、問題を分析し処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び計算力を見る問題を出題した。概ね正答率が高く、良好な結果であったが、扇形の面積を利用する問題と、60度の角を作図する問題では誤答率・無答率が高かった。同じ図形に関する問題でも結果が良好な問題もあるため、基本的事項を複数活用し、見通しを持って解答にいたる能力が不足していると考えられる。
- 2 問題2は、日常的な場面を題材にした。問2、問3の文字を利用して表現すること、及び連立方程式を解くことはよくできていた。基本的事項をみる問題である問1で誤答率・無答率がやや高かった。これは、問題文の中に文字を与えていないため、問題文を解釈し数理的に考察する点に課題があると考えられる。
- 3 問題3は、変化していく量の場合に分けて考察する問題とした。基本的事項を問う問1(2)で誤答率が高かった。これは、問題文がきちんと解釈できていないため図形を論理的に考察する能力に課題があると考えられる。また、問2、問3は場合に分けて考察する問題であるため、やや難しい出題であったが、問2①③で正答率が低かった。これは、問題文を解釈し数理的に考察する点に課題があると考えられる。
- 4 問題4は、ジャンケンとさいころを融合させた確率の問題とした。誘導に従い問題場面を理解しようとしており、結果は良好であった。表などを活用して数理的に考察する指導の成果が現れていると考えられる。
- 5 問題5は、立体図形と展開図を取り扱った。問2の正四面体を切断して考察する問題で誤答率・無答率が高かった。立体を論理的に考察する能力に課題があると考えられる。立体図形の中に含まれる平面図形に注目したり、立体を多角的に見たりする姿勢の育成が必要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然に対する、基礎的・基本的事項について理解できているかをみる。
- 2 身近な自然の事物・現象に興味・関心を持ち、科学的に調べる態度が育っているかをみる。
- 3 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方ができているかをみる。
- 4 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを導き出し、表現する力が身につけているかをみる。

【結果の概要】

- 1 身近な自然の事物・現象について、基礎的・基本的事項の理解をみる問題については正答率が高く、平素の学習の成果が現れていた。今後とも、広く全領域にわたって学習することが大切である。

ただし、得点率が低い問題もあり、身近な自然の観察や生活体験と関連づけながら、幅広い学習を一層進める必要がある。

例：【問題1】問3（花のつくりとその例）、【問題3】問2（温度変化に対する水の状態変化）、【問題3】問3（雨粒・雲粒・霧粒の大小関係）、【問題4】問3（写真による両生類の判別）等

- 2 全般的に、選択肢により解答する問題に比べ、記述により解答する問題では正答率が低かった。問題文や図表等で示された条件を読み取って、説明、計算、作図する問題では、的確に解答できていない答案が目立った。読解力や思考力・表現力の育成が課題である。

例：【問題3】問4（天気図記号の表記）、【問題2】問4（大気圧がレンガ何個分に相当するかを計算）、【問題7】問3（マグネシウムの酸化反応のグラフ化）、【問題8】問4（エネルギー資源の多くが電気エネルギーに変換され利用されている理由を説明）

- 3 実験により得られたデータを読み取って考察したり、計算する問題では、正答率が低いばかりでなく、誤答率も高かった。データを分析し、考察して自らの考えを導き出し、表現する力が十分に身につけていないことが原因であると考えられる。また、既習事項を関連づけながら、総合的に考察する力も必要である。観察・実験の技能についても、経験をとおして理解させる指導が求められる。

例：【問題2】、【問題4】、【問題7】

- 4 身近な自然現象や地域の自然に関する話題、科学的内容の時事問題（環境問題も含む）等に日頃から関心を持ち、中学校の学習事項と関連づけながら考察し、疑問や課題を解決しようとする態度の育成が必要である。

例：【問題1】（タンポポの観察）、【問題3】（大山の気象状況の観測）、【問題5】（月の満ち欠けの観測）、【問題6】（鳥取県におけるアカハライモリの地方型の分布）、【問題8】（エネルギー資源に関する問題と地球温暖化への対応）

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたって、基礎的・基本的事項を理解しているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英文やまとまりのある英文・会話文を聞いて、話し手の意向や大切な部分などを理解する力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英文を用い、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 英語の会話文やある程度の長さのある英文を読んで、本文の流れや大切な部分を理解する力や、登場人物の考えや気持ちなどを読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題については、基本的で短い平易な英文の聞き取り問題の正答率が高いが、数字を正確に聞き取ったり、会話の内容を聞き取りその場面に応じた反応を答える問題の正答率は低い。また、聞き取りの中で語彙を問うたり類推を必要とする問題やまとまりのある英文や英会話において求められている情報を聞き取る力をみる問題の正答率が低い。まとまりのある英文や英会話の聞き取りに慣れるとともに、聞き取った内容をもとに、場面に応じた表現をしたり、自分の言葉で表現するなど実践的なコミュニケーション活動が必要である。
- 2 問題2の「書くこと」に関する問題では、場面に応じて基本的な単語や連語を答える問題や複数の文法事項を組み合わせて英語で表現する問題の正答率が低かった。活用できる語彙や連語等を拡充する必要がある。身近な事柄をまとまりのある英文で表現する問題については、正答率は低いものの、部分点は半数近くあり、意欲をもって取り組む傾向が見受けられた。
- 3 問題3は「読むこと」に関する問題で、宇宙開発の歴史についての「会話文」を扱った。解答箇所が限定される問題では正答率が高いが、求められている情報を探し出し解答する問題の正答率が低く、まとまりのある会話文を正確に読み取る力に課題がある。また、会話の内容を理解した上で英語で表現する問題や本文の内容を示す英文を選択する問題の正答率が低い。
- 4 問題4も「読むこと」に関する問題で、ある程度の長さのある「物語文」を扱った。物語の概要を問う選択問題では正答率はよく、内容の大まかな理解については良好であるが、求められている情報を日本語で答える問題の正答率は低い。また、物語の英語要約文における空欄補充では、基礎的な連語や単語を解答する問題であったが正答率は低い。ある程度の長さのある物語の正確な読み取りと連語等の活用に課題がある。

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力調査抽出答案による正答率

【国語】(答案数:225)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題一	問一	漢字の知識・理解	書き取り	140	62.2%			79	35.1%	6	2.7%		
	問二	書写の基礎知識	記号選択	139	61.8%			85	37.8%	1	0.4%		
	問三	(1)	漢字の知識・理解	語句	92	40.9%			106	47.1%	27	12.0%	
		(2)	漢字の知識・理解	数値	102	45.3%			123	54.7%	0	0.0%	
		(3)	漢字の知識・理解	記号選択	131	58.3%			93	41.3%	1	0.4%	
	問四	季語	俳句の知識	抜き出し	19	8.5%			205	91.1%	1	0.4%	
		季節	俳句の知識	語句	138	61.4%			86	38.2%	1	0.4%	
	問五	A	言葉の知識	記号選択	168	74.7%			57	25.3%	0	0.0%	
B		言葉の知識	記号選択	169	75.1%			56	24.9%	0	0.0%		
問題二	問一	a	漢字の読み	読み記述	178	79.1%			39	17.3%	8	3.6%	
		b	漢字書き取り	書き取り	95	42.2%			100	44.4%	30	13.4%	
	問二	接続語	記号選択	126	56.0%			99	44.0%	0	0.0%		
	問三	段落の働き	記号選択	145	64.5%			77	34.2%	3	1.3%		
	問四	指示語	記述	91	40.4%	51	22.7%	79	35.1%	4	1.8%		
	問五	文脈理解	記号選択	193	85.8%			32	14.2%	0	0.0%		
	問六	(1)	内容理解	記述	194	86.2%			23	10.2%	8	3.6%	
		(2)	X	内容理解	記号選択	204	90.7%			21	9.3%	0	0.0%
			Y	内容理解	記号選択	208	92.4%			17	7.6%	0	0.0%
	問七	内容理解	記号選択	67	29.8%			157	69.8%	1	0.4%		
	問八	文脈理解	記号選択	146	64.9%			78	34.7%	1	0.4%		
問九	文脈理解	記号選択	98	43.6%			126	56.0%	1	0.4%			
問題三	問一	a	漢字の読み	読み記述	162	72.0%			58	25.8%	5	2.2%	
		b	漢字書き取り	書き取り	133	59.2%			37	16.4%	55	24.4%	
	問二	脱文補充	記号選択	184	81.8%			39	17.3%	2	0.9%		
	問三	語句の意味	記号選択	207	92.0%			18	8.0%	0	0.0%		
	問四	表現・文法事項理解	抜き出し	43	19.1%	11	4.9%	143	63.6%	28	12.4%		
	問五	内容理解	記号選択	192	85.3%			31	13.8%	2	0.9%		
	問六	内容理解	抜き出し	145	64.4%			47	20.9%	33	14.7%		
	問七	内容理解	記述	35	15.5%	26	11.6%	105	46.7%	59	26.2%		
	問八	文脈理解	記号選択	170	75.6%			54	24.0%	1	0.4%		
問九	文脈理解	記号選択	64	28.5%			160	71.1%	1	0.4%			
問題四	問一	仮名遣いの理解	記述	207	92.0%			18	8.0%	0	0.0%		
	問二	語句の意味	記号選択	193	85.8%			32	14.2%	0	0.0%		
	問三	接続語	記号選択	155	68.9%			69	30.7%	1	0.4%		
	問四	ウ	文脈理解	記号選択	138	30.7%			142	31.6%	14	3.0%	
		オ	文脈理解	記号選択	156	34.7%							
問五	作文	作文	31	13.6%	141	62.7%	45	20.0%	8	3.7%			

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力調査抽出答案による正答率

【社会】(答案数:225)

			内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	①	緯度経度	記号選択	177	78.7%			48	21.3%	0	0.0%	
			時差	記号選択	146	64.9%			79	35.1%	0	0.0%	
		③	記号 造山帯の位置	記号選択	208	92.4%			17	7.6%	0	0.0%	
			名称 造山帯の名称	語句	165	73.4%			55	24.4%	5	2.2%	
		(2)	地図・距離	記号選択	104	46.2%			121	53.8%	0	0.0%	
	(3)	①	世界の主食作物	記号選択	207	92.0%			18	8.0%	0	0.0%	
		②	小麦の生産量(世界)	記号選択	127	56.4%			98	43.6%	0	0.0%	
	(4)	フランスの電力	記号選択	113	50.3%			111	49.3%	1	0.4%		
	問2	(1)	山陰海岸	記号選択	232	51.6%			216	48.0%	2	0.4%	
		(2)	調節池	記号選択	193	85.8%			31	13.8%	1	0.4%	
(3)		県内4市の人口	記号選択	355	78.9%			92	20.4%	3	0.7%		
(4)		①	地図・方位	記号選択	124	55.1%			99	44.0%	2	0.9%	
		②	地図記号・等高線・縮尺	記号選択	48	21.3%			176	78.2%	1	0.4%	
問題2	問1	(1)	弥生時代の農業	記号選択	172	76.4%			53	23.6%	0	0.0%	
		(2)	律令時代の土地制度	語句	142	63.1%			60	26.7%	23	10.2%	
		(3)	室町時代の農業	記号選択	159	70.7%			65	28.9%	1	0.4%	
		(4)	人物	検地を行った人物	記号選択	216	96.0%			9	4.0%	0	0.0%
			政策	豊臣秀吉の政策	記号選択	206	91.6%			19	8.4%	0	0.0%
	(5)	千歯こき	記号選択	214	95.1%			11	4.9%	0	0.0%		
	問2	(1)	国風文化	記号選択	113	50.2%			112	49.8%	0	0.0%	
		(2)	都市名	南蛮貿易の拠点	語句	54	24.0%			155	68.9%	16	7.1%
			位置	地図・都市の位置	記号選択	104	46.2%			119	52.9%	2	0.9%
		(3)	①	明治時代の外交	並べ替え	42	18.7%			183	81.3%	0	0.0%
②			サンフランシスコ平和条約	語句	113	50.2%			99	44.0%	13	5.8%	
問題3	問1	(1)	国民の権利	記号選択	147	65.3%			78	34.7%	0	0.0%	
		(2)	三権分立	記号選択	190	84.4%			35	15.6%	0	0.0%	
		(3)	条例の制定・改廃	計算など	52	23.1%			162	72.0%	11	4.9%	
	問2	(1)	日本銀行の役割	記号選択	198	88.0%			27	12.0%	0	0.0%	
		(2)	製造物責任法	記号選択	186	82.7%			39	17.3%	0	0.0%	
		(3)	需要と供給	記号選択	137	60.9%			87	38.7%	1	0.4%	
	問3	(1)	NGO	語句	158	70.2%			61	27.1%	6	2.7%	
		(2)	ODAの受取国	国名	67	29.8%			149	66.2%	9	4.0%	
		(3)	持続可能	空欄補充	35	15.6%			160	71.1%	30	13.3%	
問題4	問1	(1)	日露戦争	説明	31	13.8%	37	16.4%	122	54.2%	35	15.6%	
		(2)	第一次世界大戦	記号選択	113	50.2%			111	49.3%	1	0.4%	
	問2	(1)	第二次世界大戦後の 日本経済	記号選択	200	88.9%			22	9.8%	3	1.3%	
		(2)	高度経済成長期の家計 所得増加の理由	説明	74	32.9%	40	17.8%	88	39.1%	23	10.2%	

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力調査抽出答案による正答率

【数学】(答案数:225)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	221	98.2%			4	1.8%	0	0.0%	
		(2) 分数の計算・負の数	計算	218	96.9%			6	2.7%	1	0.4%	
		(3) 根号を含む式の計算	計算	191	84.9%			25	11.1%	9	4.0%	
		(4) 多項式の計算	計算	204	90.7%			20	8.9%	1	0.4%	
	問2	因数分解	計算	199	88.4%			15	6.7%	11	4.9%	
	問3	二次方程式の解	計算	205	91.1%			15	6.7%	5	2.2%	
	問4	二等辺三角形の内角	計算	189	84.0%			35	15.6%	1	0.4%	
	問5	一次関数の式	計算	165	73.4%			48	21.3%	12	5.3%	
	問6	二次関数の変化の割合	計算	147	65.3%			61	27.1%	17	7.6%	
	問7	扇形の面積の利用	計算	36	16.0%			127	56.4%	62	27.6%	
問8	相似条件と証明	証明	113	50.2%	50	22.2%	27	12.0%	35	15.6%		
問9	60°の角の作図	作図	58	25.8%	9	4.0%	101	44.9%	57	25.3%		
問題2	問1	一次方程式	計算	114	50.7%			88	39.1%	23	10.2%	
	問2	文字式と数量	計算	185	82.2%			27	12.0%	13	5.8%	
	問3	中 小	連立方程式の利用	計算	158	70.2%			50	22.2%	17	7.6%
				計算	156	69.3%			52	23.1%	17	7.6%
問4	数え方の工夫	計算	70	31.1%			108	48.0%	47	20.9%		
問題3	問1	(1) 三角形の面積 (相似な図形)	計算	183	81.3%			34	15.1%	8	3.6%	
		(2) 図形の面積	計算	94	41.8%			108	48.0%	23	10.2%	
	問2	① 変域	数値	118	52.4%			74	32.9%	33	14.7%	
		② 関数の式	式	87	38.7%			97	43.1%	41	18.2%	
		③ 変域	数値	112	49.8%			65	28.9%	48	21.3%	
		④ 関数の式	式	79	35.1%			83	36.9%	63	28.0%	
問3	二次方程式の利用	計算	22	9.8%			118	52.4%	85	37.8%		
問題4	問1	確率の計算	計算	197	87.6%			23	10.2%	5	2.2%	
	問2	確率の計算 (表の利用)	計算	116	51.6%	2	0.9%	97	43.1%	10	4.4%	
	問3	(1) 確率の計算 (表の利用)	計算	101	44.9%			90	40.0%	34	15.1%	
		(2) 確率の計算	計算	62	27.6%			101	44.8%	62	27.6%	
問題5	問1	三平方の定理	計算	162	72.0%			47	20.9%	16	7.1%	
	問2	三角形の面積 (三平方の定理利用)	計算	38	16.9%			142	63.1%	45	20.0%	
	問3	三角錐の体積	計算	9	4.0%			142	63.1%	74	32.9%	
	問4	展開図の理解	選択	157	69.8%			49	21.8%	19	8.4%	
	問5	展開図の応用	計算	37	16.5%	5	2.2%	119	52.9%	64	28.4%	

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力調査抽出答案による正答率

【理科】(答案数:225)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	観察器具の扱い方	記号選択	185	82.2%			40	17.8%	0	0.0%	
	問2	植物の体のつくり	記号選択	112	49.8%			113	50.2%	0	0.0%	
	問3	花のつくり	記号選択	58	25.8%			167	74.2%	0	0.0%	
	問4	(1)	光合成	記号選択	204	90.7%			21	9.3%	0	0.0%
(2)		物質の運搬	説明	104	46.2%	1	0.4%	98	43.6%	22	9.8%	
問題2	問1	重力の大きさ	計算	67	29.8%			144	64.0%	14	6.2%	
	問2	物体の圧力	計算	54	24.0%			166	73.8%	5	2.2%	
	問3	① ② 大気圧	①	語句	184	81.8%			37	16.4%	4	1.8%
			②	語句	143	63.6%			82	36.4%	0	0.0%
	問4	大気圧の大きさ	計算	43	19.1%			157	69.8%	25	11.1%	
問5	水の重さによる圧力	記号選択	94	41.8%			130	57.8%	1	0.4%		
問題3	問1	実験の安全上の注意点	説明	26	11.5%			186	82.7%	13	5.8%	
	問2	水の状態変化	記号選択	68	30.2%			155	68.9%	2	0.9%	
	問3	水滴の大きさ	並べ替え	88	39.1%			131	58.2%	6	2.7%	
	問4	天気及び気象要素	作図	107	47.6%	27	12.0%	82	36.4%	9	4.0%	
	問5	下降気流	記号選択	121	53.8%			104	46.2%	0	0.0%	
問題4	問1	再結晶	語句	97	43.2%			118	52.4%	10	4.4%	
	問2	飽和した溶質の量	記号選択	118	57.2%			107	42.8%	0	0.0%	
	問3	溶質を再結晶させる条件	記号選択	80	35.6%			145	64.4%	0	0.0%	
	問4	電解質の電離	語句	78	34.7%			136	60.4%	11	4.9%	
反応式			113	50.2%			90	40.0%	22	9.8%		
問題5	問1	日食の時の、位置関係	記号選択	194	86.2%			31	13.8%	0	0.0%	
	問2	月の形による呼称	記号選択	160	71.1%			65	28.9%	0	0.0%	
	問3	時刻 月の形	時刻	記号選択	101	44.9%			123	54.7%	1	0.4%
			月の形	作図	127	56.4%			94	41.8%	4	1.8%
問4	天体の公転軌道	語句	122	54.2%			94	41.8%	9	4.0%		
問題6	問1	両生類の識別	記号選択	129	57.3%			96	42.7%	0	0.0%	
	問2	両生類の特徴	記号選択	170	75.6%			55	24.4%	0	0.0%	
	問3	細胞の核にある遺伝子	語句	101	44.9%			119	52.9%	5	2.2%	
	問4	脊椎動物と無脊椎動物	記号選択	134	59.6%			91	40.4%	0	0.0%	
	問5	自然環境の保護	記号選択	212	94.2%			13	5.8%	0	0.0%	
問題7	問1	酸化の実験の留意点	記号選択	85	37.8%			139	61.8%	1	0.4%	
	問2	酸化マグネシウム	化学式	138	61.3%			80	35.6%	7	3.1%	
	問3	実験結果のグラフ化	グラフ	74	32.9%	27	12.0%	111	49.3%	13	5.8%	
	問4	酸化銅の還元の化学変化	反応式	107	47.6%			102	45.3%	16	7.1%	
	問5	酸化銅の還元	計算	104	46.2%			101	44.9%	20	8.9%	
問題8	問1	エネルギーの性質	記号選択	178	79.2%			46	20.4%	1	0.4%	
	問2	位置エネルギー	計算	93	41.4%			122	54.2%	10	4.4%	
	問3	化石燃料	語句	161	71.6%			52	23.1%	12	5.3%	
	問4	電気エネルギー	説明	64	28.5%	36	16.0%	111	49.3%	14	6.2%	

平成22年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力調査抽出答案による正答率

【英語】(答案数:225)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	No.1	対話文の聞き取り	記号選択	218	96.9%			7	3.1%	0	0.0%
		No.2	対話文の聞き取り	記号選択	41	18.2%			184	81.8%	0	0.0%
		No.3	対話文の聞き取り	記号選択	74	32.9%			150	66.7%	1	0.4%
	問2	No.1	対話文の聞き取り	記号選択	138	61.4%			86	38.2%	1	0.4%
		No.2	対話文の聞き取り	記号選択	85	37.8%			138	61.3%	2	0.9%
	問3	(1)	説明文の聞き取り	記述	67	29.8%			155	68.9%	3	1.3%
		(2)	説明文の聞き取り	記述	46	20.5%			91	40.4%	88	39.1%
		(3)	説明文の聞き取り	記述	101	44.9%			84	37.3%	40	17.8%
	問4	Ques.1	少し長い対話文の聞き取り	記号選択	174	77.3%			51	22.7%	0	0.0%
		Ques.2	少し長い対話文の聞き取り	記号選択	46	20.5%			178	79.1%	1	0.4%
		Ques.3	少し長い対話文の聞き取り	記号選択	113	50.2%			111	49.3%	1	0.4%
		Ques.4	少し長い対話文の聞き取り	記号選択	80	35.7%			145	64.4%	0	0.0%
	問題2	問1	①	help oneself	単語挿入	87	38.6%			121	53.8%	17
②			want something to do	英作文	77	34.2%	43	19.1%	83	36.9%	22	9.8%
③			go ~ing	単語挿入	35	15.6%			171	76.0%	19	8.4%
④			最上級 one of ~s	英作文	12	5.3%	67	29.8%	116	51.6%	30	13.3%
問2		日本の正月の風物を表現	自由英作文	33	14.7%	110	48.9%	46	20.4%	36	16.0%	
問題3	問1	(1)	内容把握と語句補充	英問英答	120	53.3%			98	43.6%	7	3.1%
		(2)			28	12.5%			178	79.1%	19	8.4%
	問2	内容把握	語句整序	48	21.3%	14	6.2%	143	63.6%	20	8.9%	
	問3	内容把握	和文記述	259	57.6%			137	30.4%	54	12.0%	
	問4	ア イ	内容把握と語句補充	英文要約	25	11.1%			158	70.2%	42	18.7%
					100	44.5%			102	45.3%	23	10.2%
	問5	ア イ	内容把握	和文記述	131	58.2%			74	32.9%	20	8.9%
76					33.8%			112	49.8%	37	16.4%	
問6	内容把握	英文選択	99	44.0%			122	54.2%	4	1.8%		
問題4	問1	内容把握	和文選択	281	62.5%			154	34.2%	15	3.3%	
	問2	内容把握	和文記述	98	43.5%	58	25.8%	45	20.0%	24	10.7%	
	問3	内容把握	語句補充	61	27.1%			141	62.7%	23	10.2%	
	問4	内容把握	和文記述	72	32.1%	52	23.1%	55	24.4%	46	20.4%	
	問5	内容把握	英文選択	153	68.0%			68	30.2%	4	1.8%	
	問6	内容把握	和文選択	198	88.0%			23	10.2%	4	1.8%	
	問7	ア イ ウ エ	内容把握	語句補充	91	40.4%			99	44.0%	35	15.6%
					37	16.4%			148	65.8%	40	17.8%
					114	50.6%			58	25.8%	53	23.6%
					35	15.5%			141	62.7%	49	21.8%